

## 【特殊詐欺についてのアンケート】

調査期間 R5.9.6 ~ R5.9.19  
回答率 86.4% 回答者数 292人

### アンケートの趣旨

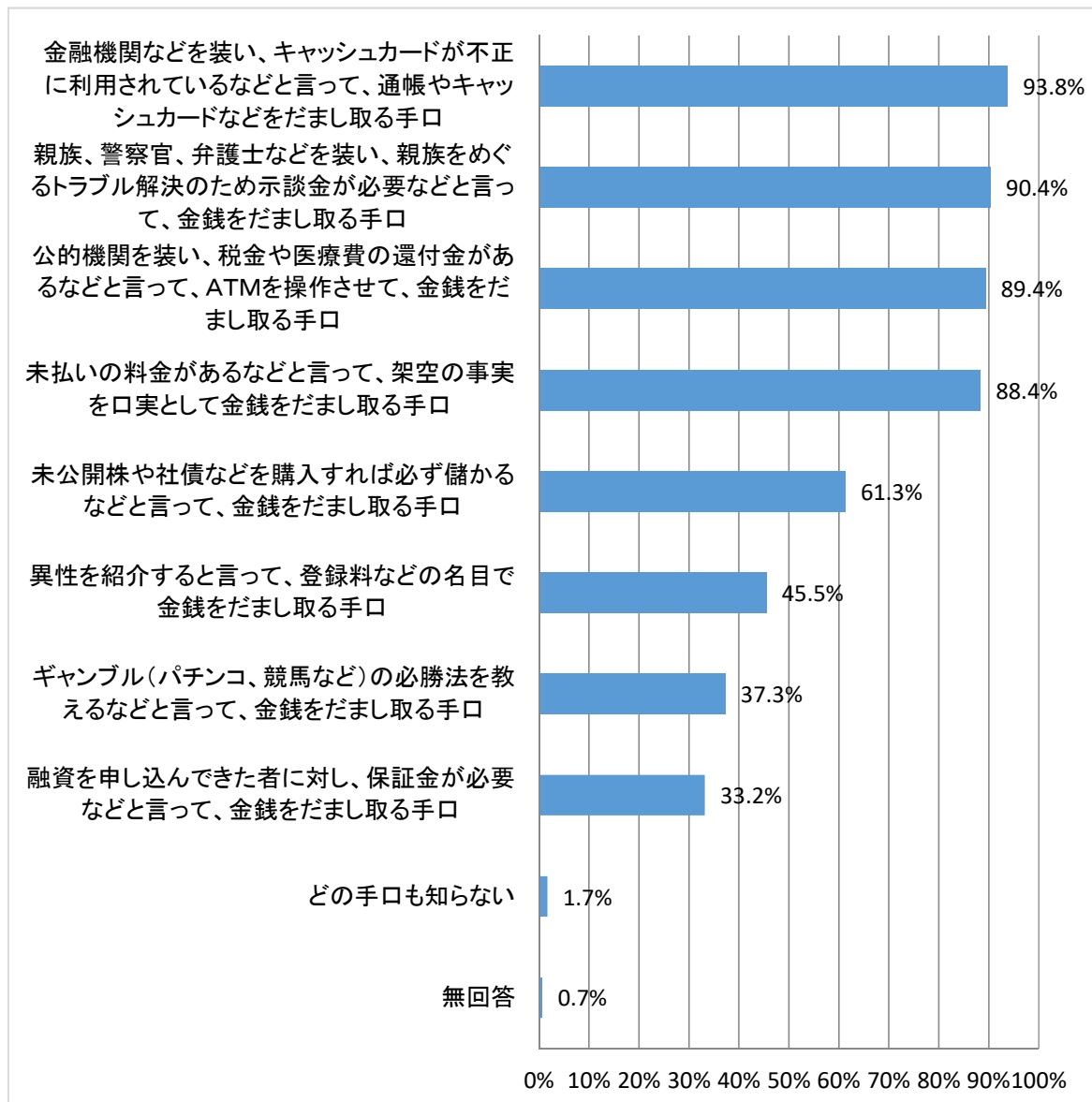
県内における、令和5年上半期の特殊詐欺の認知件数は88件(前年同期比+61件)、被害総額は約7,265万円(前年同期比+約4,954万円)と、認知件数、被害額ともに大幅に増加しており、極めて厳しい状況にあります。

県警では、特殊詐欺の抑止対策として広報啓発活動などを実施しているところですが、さらなる抑止に向けた効果的な対策を講じていく必要があります。

つきましては、県民の皆さまに特殊詐欺についてアンケートを行い、今後の取り組みに反映したいので、ご協力をよろしくお願いいたします。

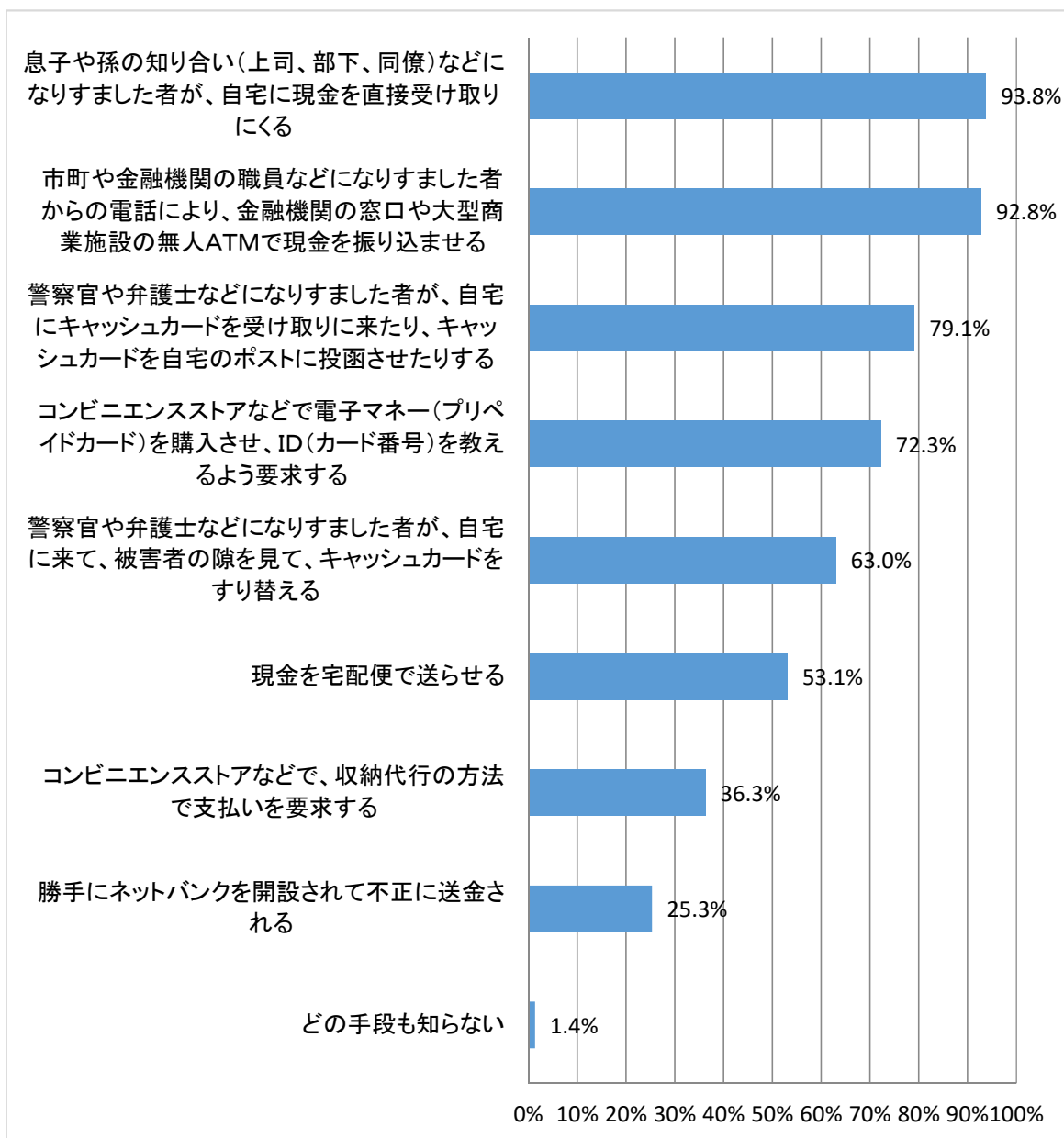
【問1】 あなたは、特殊詐欺の手口としてどのようなものを知っていますか。知っているものを次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
金融機関などを装い、キャッシュカードが不正に利用されているなどと言って、通帳やキャッシュカードなどをだまし取る手口	274	93.8%
親族、警察官、弁護士などを装い、親族をめぐるトラブル解決のため示談金が必要などと言って、金銭をだまし取る手口	264	90.4%
公的機関を装い、税金や医療費の還付金があるなどと言って、ATMを操作させて、金銭をだまし取る手口	261	89.4%
未払いの料金があるなどと言って、架空の事実を口実として金銭をだまし取る手口	258	88.4%
未公開株や社債などを購入すれば必ず儲かるなどと言って、金銭をだまし取る手口	179	61.3%
異性を紹介すると言って、登録料などの名目で金銭をだまし取る手口	133	45.5%
ギャンブル(パチンコ、競馬など)の必勝法を教えるなどと言って、金銭をだまし取る手口	109	37.3%
融資を申し込んできた者に対し、保証金が必要などと言って、金銭をだまし取る手口	97	33.2%
どの手口も知らない	5	1.7%
無回答	2	0.7%



〔問2〕 特殊詐欺の犯人が現金をだまし取る手段としてどのようなものを知っていますか。あなたが知っているものを次の中からすべて選んでください。

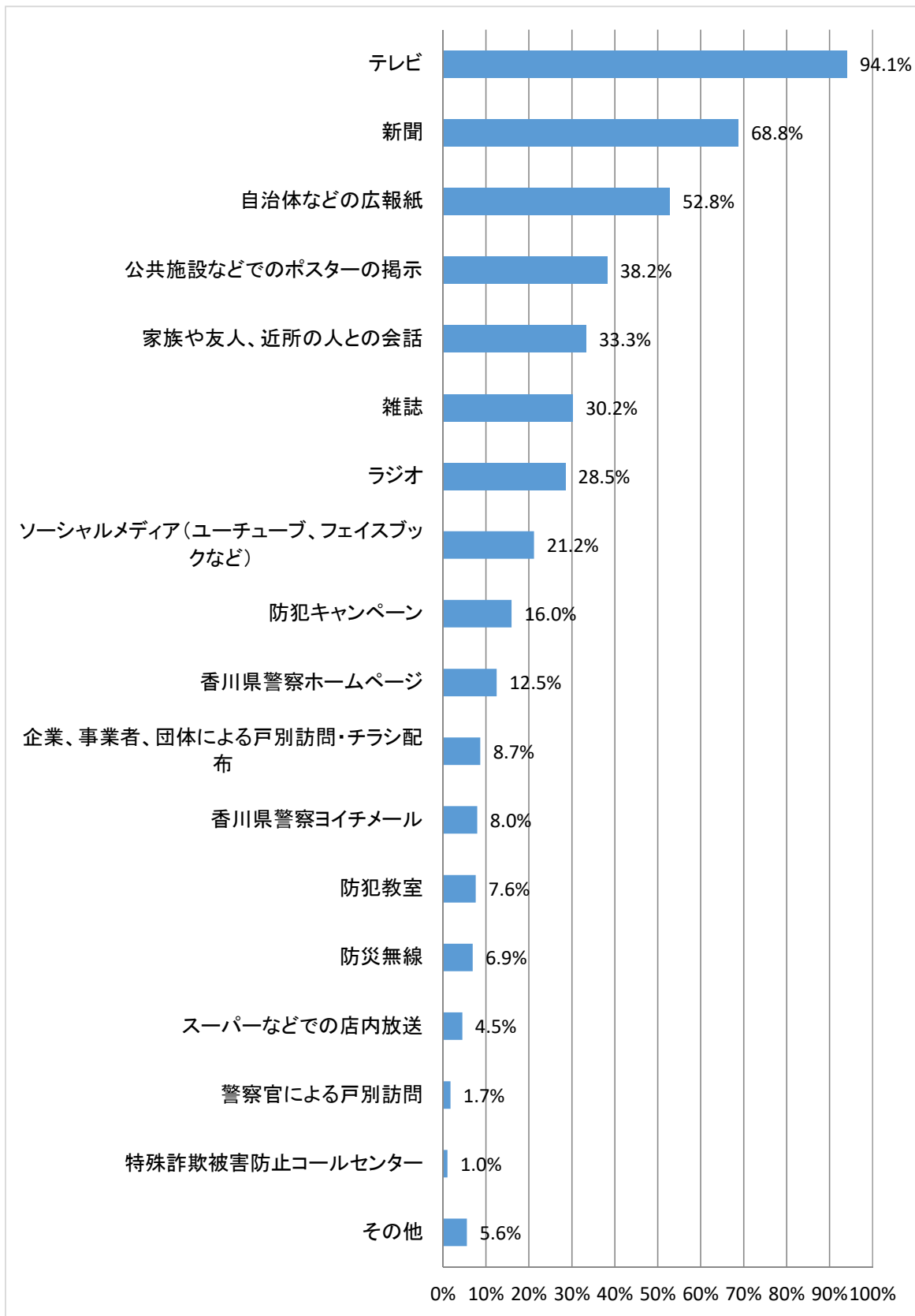
選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
息子や孫の知り合い(上司、部下、同僚)などになりました者が、自宅に現金を直接受け取りにくる	274	93.8%
市町や金融機関の職員などになりました者からの電話により、金融機関の窓口や大型商業施設の無人ATMで現金を振り込ませる	271	92.8%
警察官や弁護士などになりました者が、自宅にキャッシュカードを受け取りに来たり、キャッシュカードを自宅のポストに投函させたりする	231	79.1%
コンビニエンスストアなどで電子マネー(プリペイドカード)を購入させ、ID(カード番号)を教えるよう要求する	211	72.3%
警察官や弁護士などになりました者が、自宅に来て、被害者の隙を見て、キャッシュカードをすり替える	184	63.0%
現金を宅配便で送らせる	155	53.1%
コンビニエンスストアなどで、収納代行の方法で支払いを要求する	106	36.3%
勝手にネットバンクを開設されて不正に送金される	74	25.3%
どの手段も知らない	4	1.4%



〔問3〕 問1、2で特殊詐欺の手口や犯人が現金をだまし取る手段について1つでも知っている方にお伺いします。

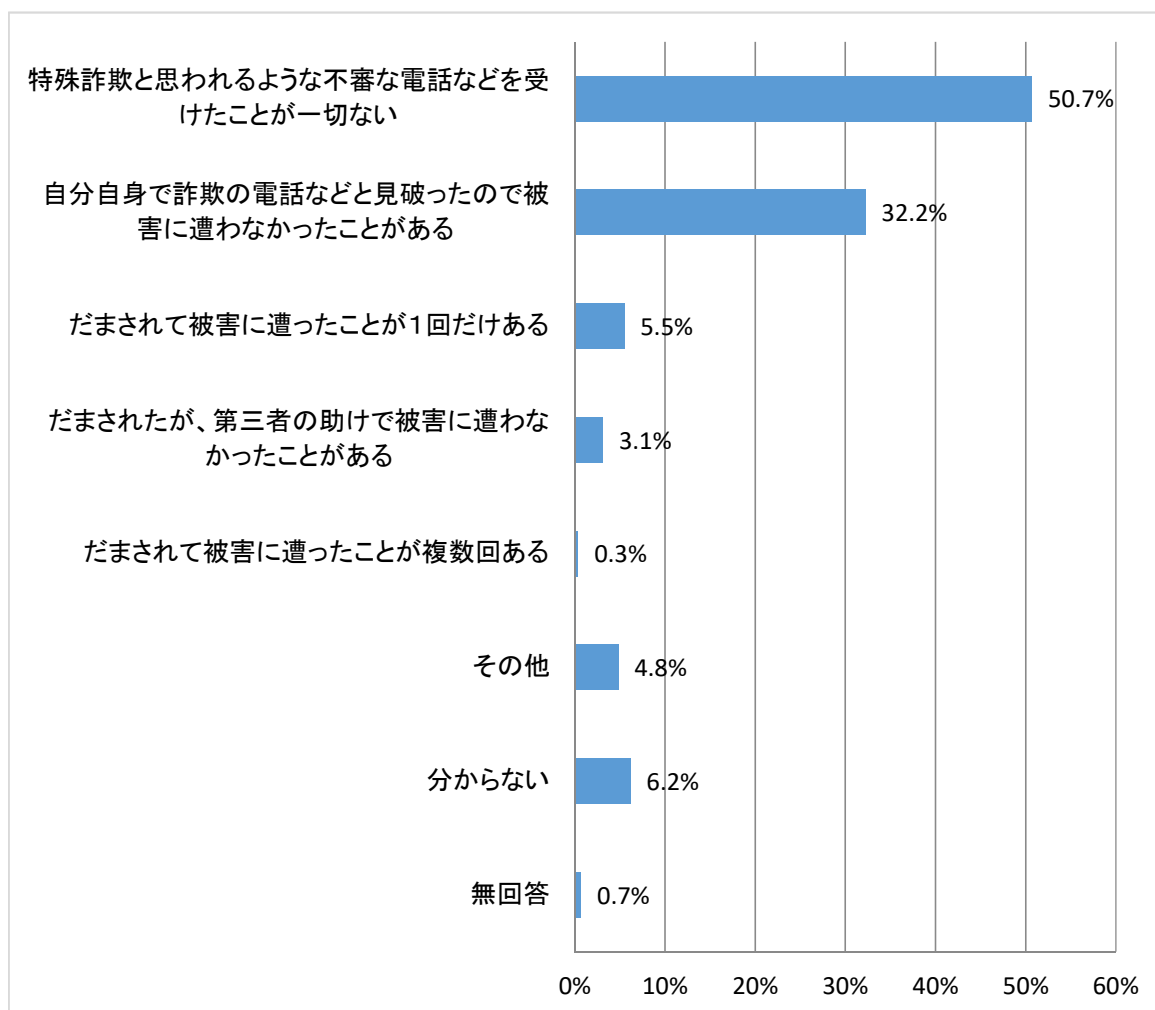
あなたは、特殊詐欺の手口や犯人が現金をだまし取る手段を何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 288	
	回答者数	構成比
テレビ	271	94.1%
新聞	198	68.8%
自治体などの広報紙	152	52.8%
公共施設などでのポスターの掲示	110	38.2%
家族や友人、近所の人との会話	96	33.3%
雑誌	87	30.2%
ラジオ	82	28.5%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、フェイスブックなど)	61	21.2%
防犯キャンペーン	46	16.0%
香川県警察ホームページ	36	12.5%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	25	8.7%
香川県警察ヨイチメール	23	8.0%
防犯教室	22	7.6%
防災無線	20	6.9%
スーパーなどでの店内放送	13	4.5%
警察官による戸別訪問	5	1.7%
特殊詐欺被害防止コールセンター	3	1.0%
その他	16	5.6%



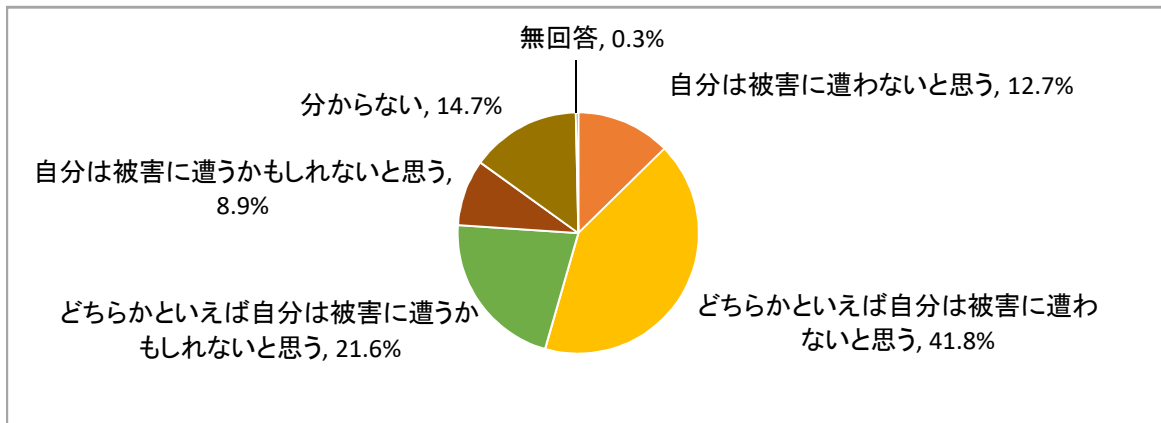
〔問4〕 あなたは、これまでに特殊詐欺と思われるような不審な電話などで、だまされたこと、またはだまされそうになったことはありますか。そのときご経験されたことを次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
特殊詐欺と思われるような不審な電話などを受けたことが一切ない	148	50.7%
自分自身で詐欺の電話などを見破ったので被害に遭わなかったことがある	94	32.2%
だまされて被害に遭ったことが1回だけある	16	5.5%
だまされたが、第三者の助けで被害に遭わなかったことがある	9	3.1%
だまされて被害に遭ったことが複数回ある	1	0.3%
その他	14	4.8%
分からない	18	6.2%
無回答	2	0.7%



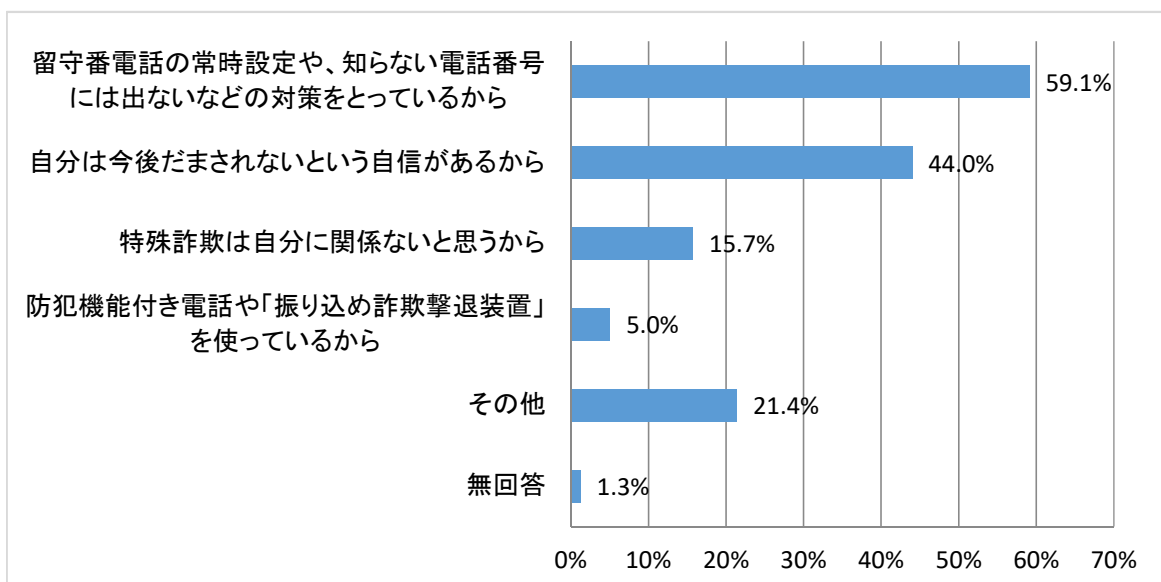
〔問5〕 今後の特殊詐欺の被害に対するあなたの意識について、最も近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
自分は被害に遭わないと思う	37	12.7%
どちらかといえば自分は被害に遭わないと思う	122	41.8%
どちらかといえば自分は被害に遭うかもしれないと思う	63	21.6%
自分は被害に遭うかもしれないと思う	26	8.9%
分からない	43	14.7%
無回答	1	0.3%
計	292	100.0%



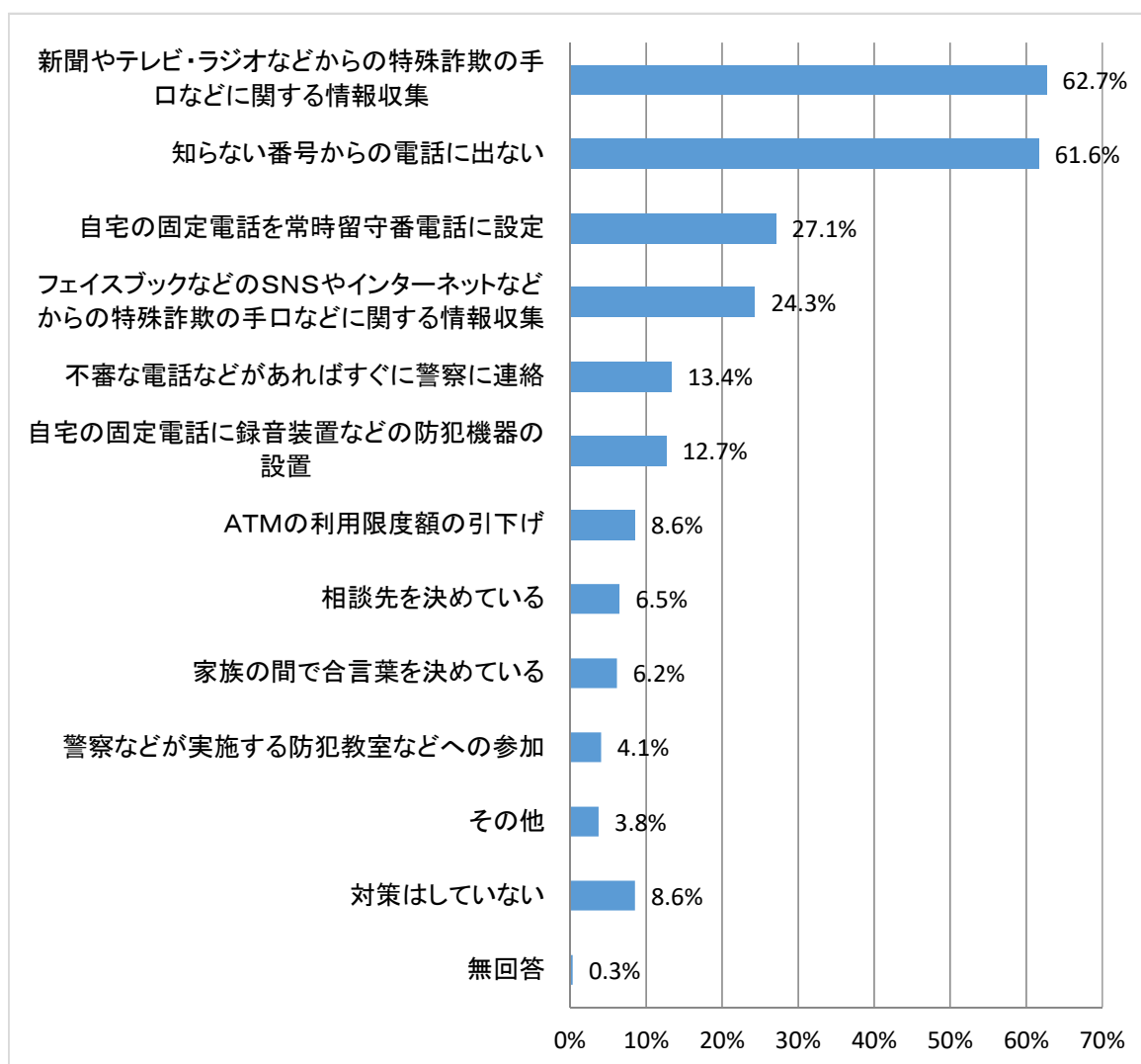
〔問5-1〕 問5で「自分は被害に遭わないと思う」、「どちらかといえば自分は被害に遭わないと思う」と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
留守番電話の常時設定や、知らない電話番号には出ないなどの対策をとっているから	94	59.1%
自分は今後だまされないという自信があるから	70	44.0%
特殊詐欺は自分に関係ないと思うから	25	15.7%
防犯機能付き電話や「振り込め詐欺撃退装置」を使っているから	8	5.0%
その他	34	21.4%
無回答	2	1.3%



〔問6〕 あなたやあなたの家族が、特殊詐欺の被害に遭わないために行っている対策は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

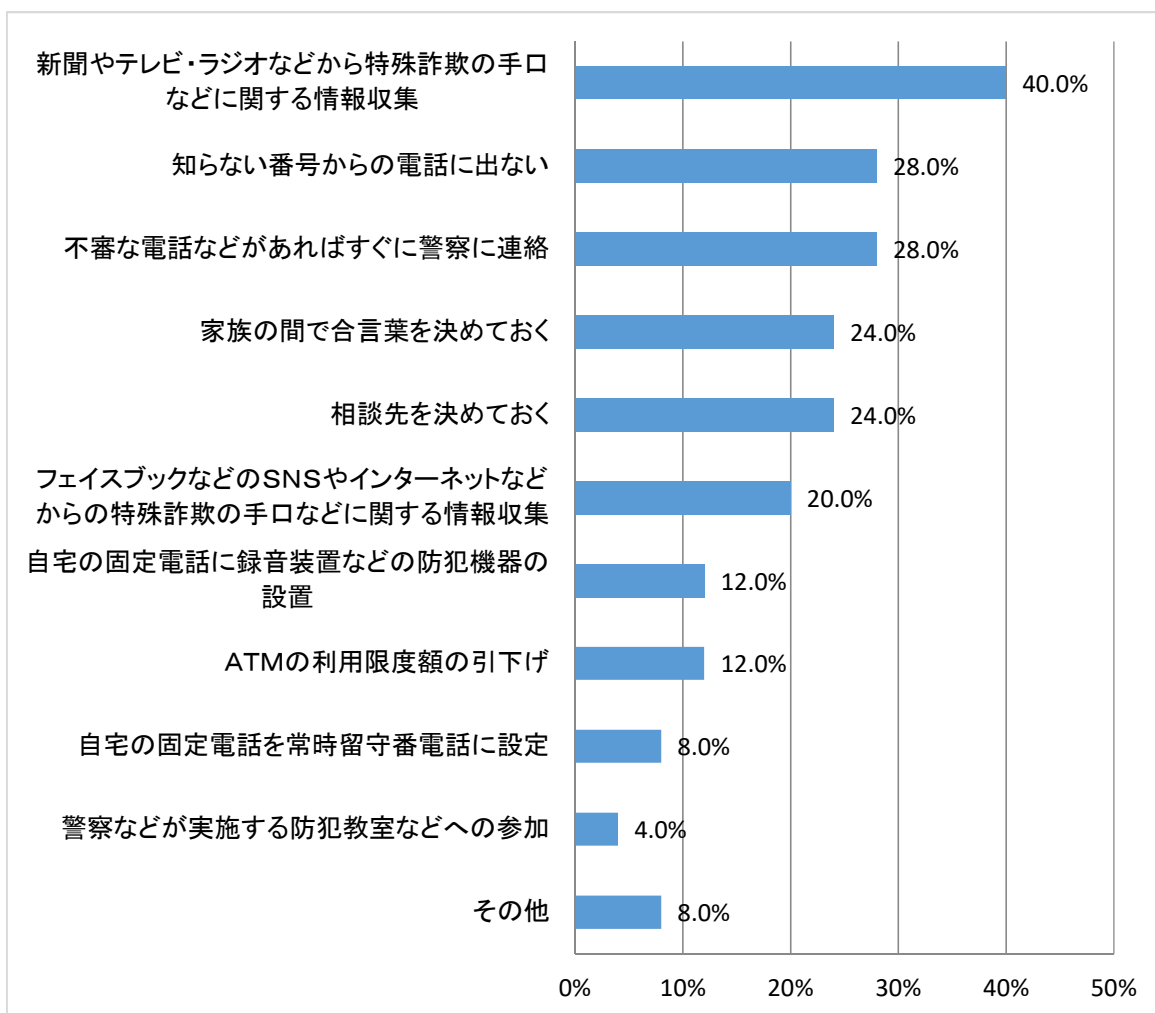
選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
新聞やテレビ・ラジオなどからの特殊詐欺の手口などに関する情報収集	183	62.7%
知らない番号からの電話に出ない	180	61.6%
自宅の固定電話を常時留守番電話に設定	79	27.1%
フェイスブックなどのSNSやインターネットなどからの特殊詐欺の手口などに関する情報収集	71	24.3%
不審な電話などがあればすぐに警察に連絡	39	13.4%
自宅の固定電話に録音装置などの防犯機器の設置	37	12.7%
ATMの利用限度額の引下げ	25	8.6%
相談先を決めている	19	6.5%
家族の間で合言葉を決めている	18	6.2%
警察などが実施する防犯教室などへの参加	12	4.1%
その他	11	3.8%
対策はしていない	25	8.6%
無回答	1	0.3%





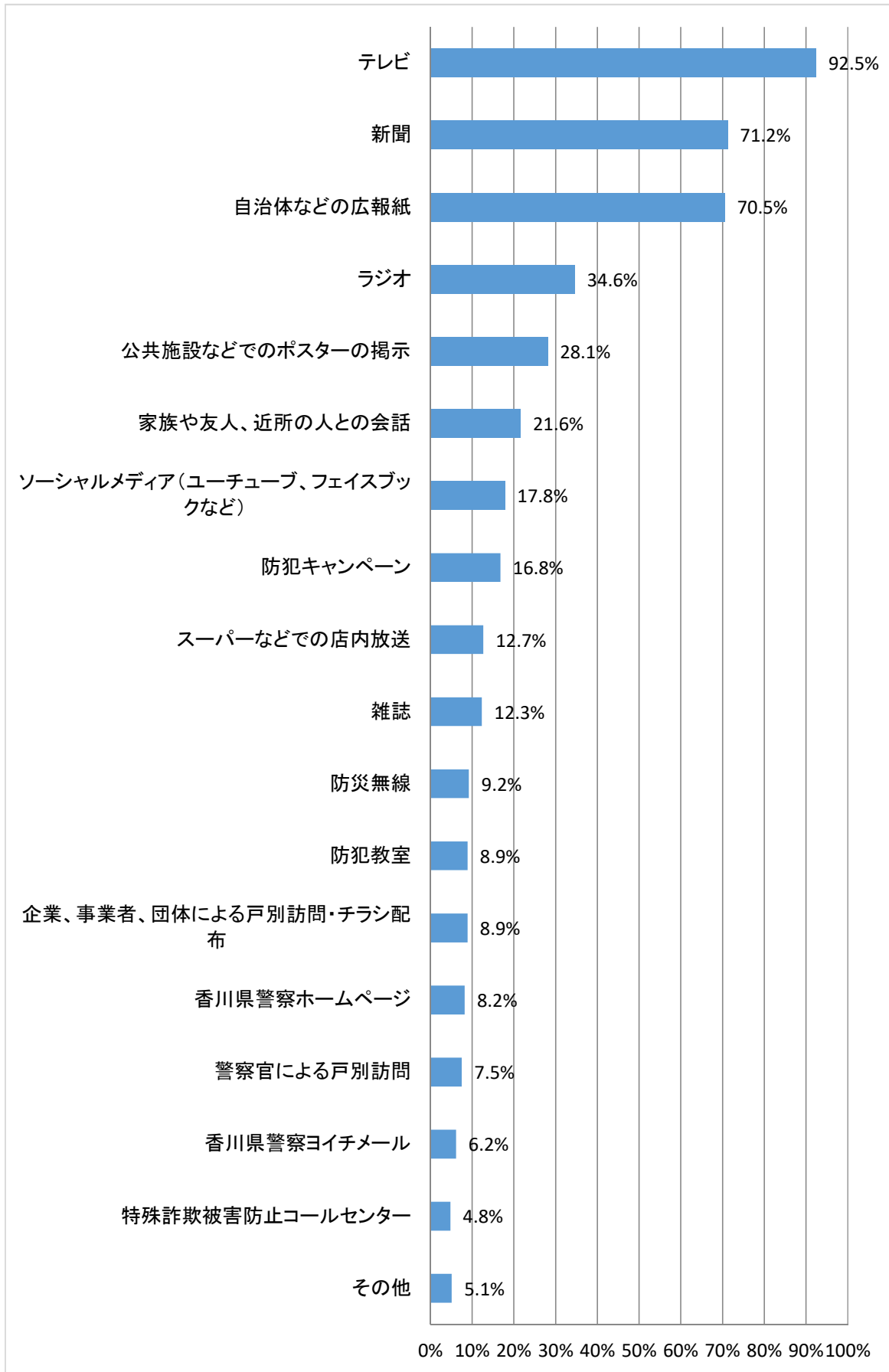
〔問6-1〕 問6で「対策はしていない」と答えた方にお伺いします。  
 特殊詐欺の被害を防止するために、あなたが今後取り入れるとすれば、どの対策ですか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 25	
	回答者数	構成比
新聞やテレビ・ラジオなどから特殊詐欺の手口などに関する情報収集	10	40.0%
知らない番号からの電話に出ない	7	28.0%
不審な電話などがあればすぐに警察に連絡	7	28.0%
家族の間で合言葉を決めておく	6	24.0%
相談先を決めておく	6	24.0%
フェイスブックなどのSNSやインターネットなどからの特殊詐欺の手口などに関する情報収集	5	20.0%
自宅の固定電話に録音装置などの防犯機器の設置	3	12.0%
ATMの利用限度額の引下げ	3	12.0%
自宅の固定電話を常時留守番電話に設定	2	8.0%
警察などが実施する防犯教室などへの参加	1	4.0%
その他	2	8.0%



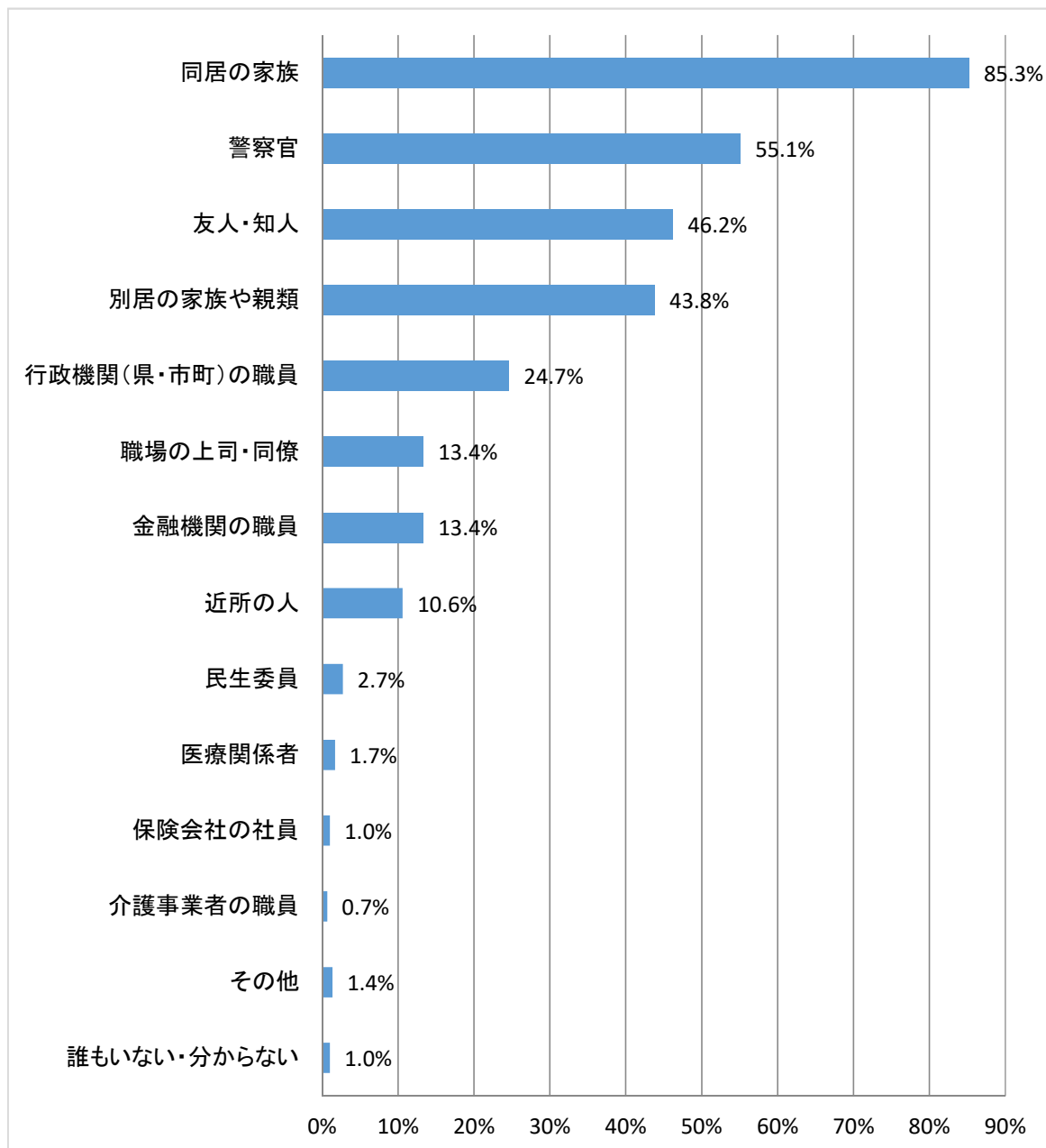
〔問7〕 あなたは、特殊詐欺に関する情報が、どのような手段や機会で、提供されたらよいと思いますか。次の中から5つまで選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
テレビ	270	92.5%
新聞	208	71.2%
自治体などの広報紙	206	70.5%
ラジオ	101	34.6%
公共施設などでのポスターの掲示	82	28.1%
家族や友人、近所の人との会話	63	21.6%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、フェイスブックなど)	52	17.8%
防犯キャンペーン	49	16.8%
スーパーなどでの店内放送	37	12.7%
雑誌	36	12.3%
防災無線	27	9.2%
防犯教室	26	8.9%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	26	8.9%
香川県警察ホームページ	24	8.2%
警察官による戸別訪問	22	7.5%
香川県警察ヨイチメール	18	6.2%
特殊詐欺被害防止コールセンター	14	4.8%
その他	15	5.1%



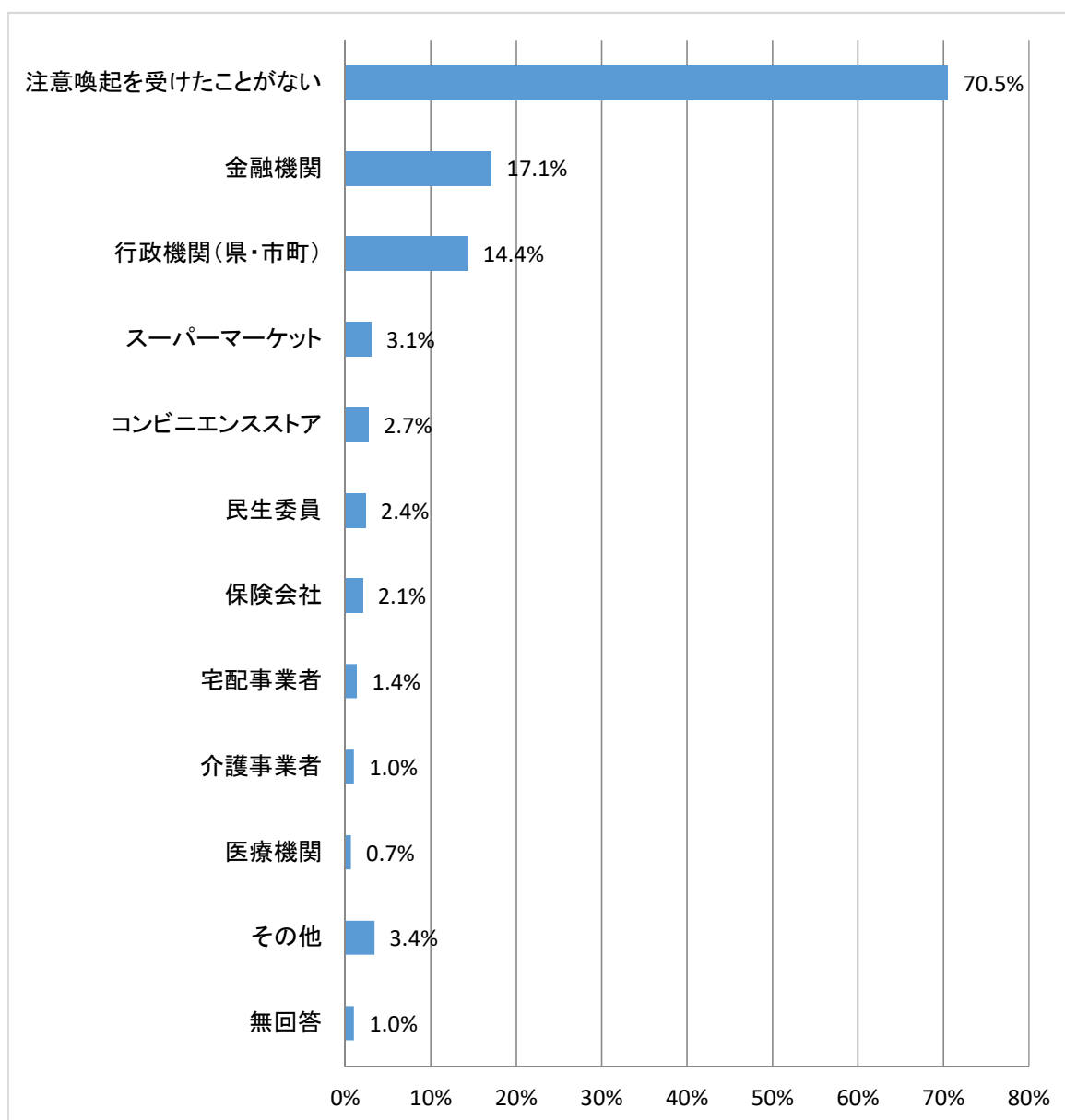
〔問8〕 あなたは、特殊詐欺を疑うような不審な連絡があった場合に誰に相談しますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
同居の家族	249	85.3%
警察官	161	55.1%
友人・知人	135	46.2%
別居の家族や親類	128	43.8%
行政機関(県・市町)の職員	72	24.7%
職場の上司・同僚	39	13.4%
金融機関の職員	39	13.4%
近所の人	31	10.6%
民生委員	8	2.7%
医療関係者	5	1.7%
保険会社の社員	3	1.0%
介護事業者の職員	2	0.7%
その他	4	1.4%
誰もいない・分からない	3	1.0%



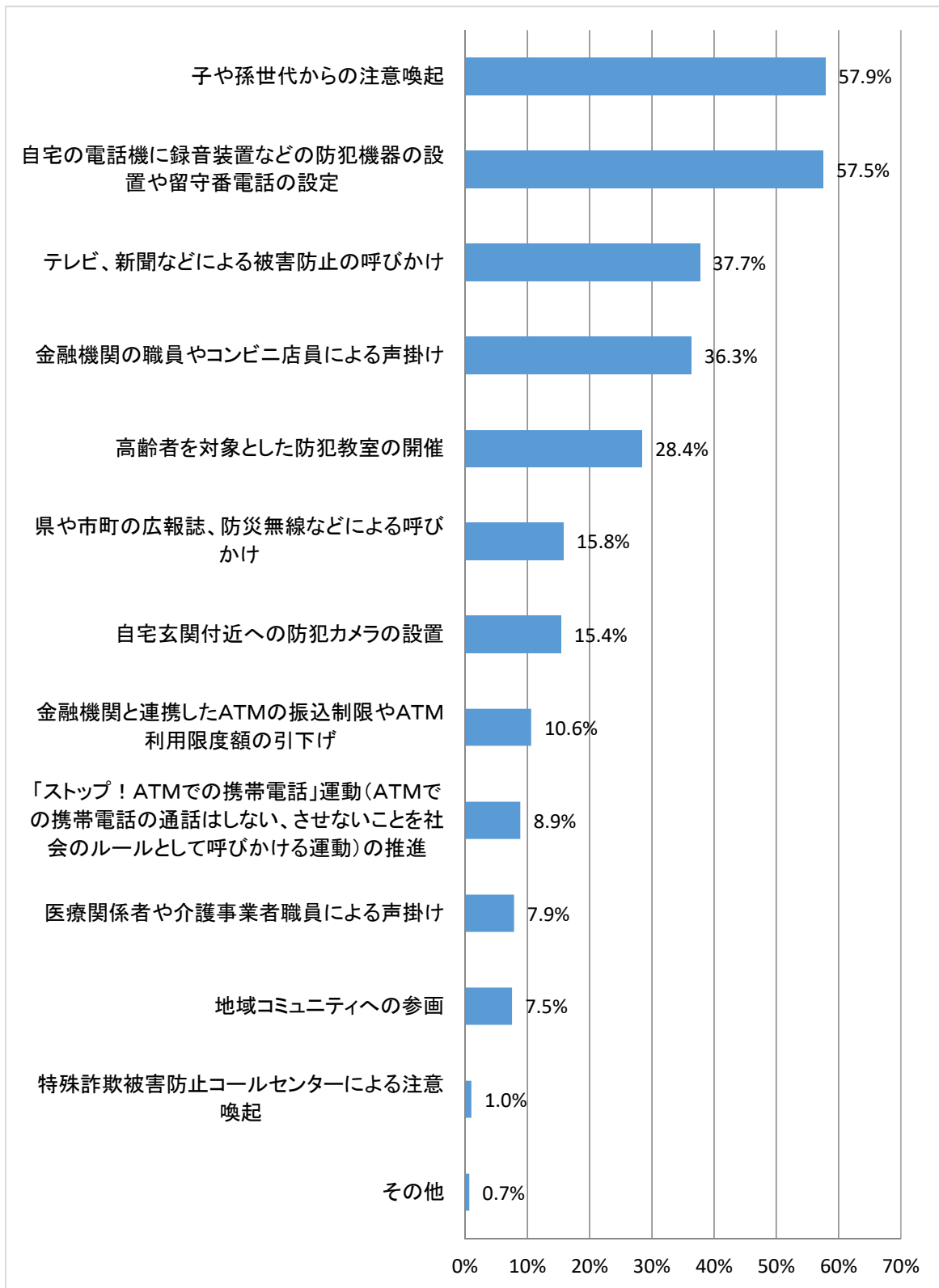
〔問9〕 あなたは、次の警察以外の機関、事業者などから、特殊詐欺被害防止に関する注意喚起を受けたことがありますか。注意喚起を受けたことがある事業者など、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
注意喚起を受けたことがない	206	70.5%
金融機関	50	17.1%
行政機関(県・市町)	42	14.4%
スーパーマーケット	9	3.1%
コンビニエンスストア	8	2.7%
民生委員	7	2.4%
保険会社	6	2.1%
宅配事業者	4	1.4%
介護事業者	3	1.0%
医療機関	2	0.7%
その他	10	3.4%
無回答	3	1.0%



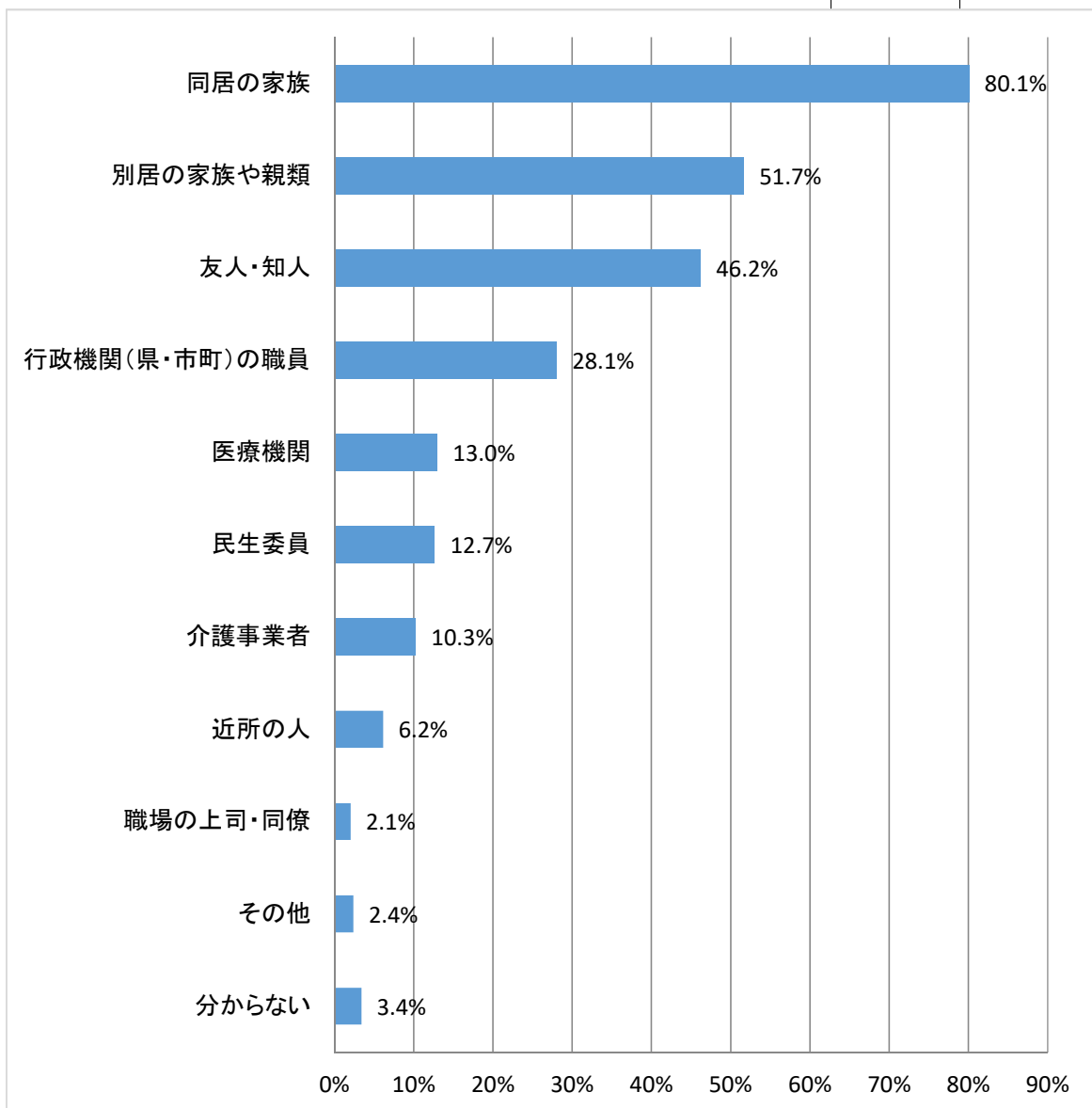
〔問10〕 あなたは、高齢者の特殊詐欺被害を防止するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
子や孫世代からの注意喚起	169	57.9%
自宅の電話機に録音装置などの防犯機器の設置や留守番電話の設定	168	57.5%
テレビ、新聞などによる被害防止の呼びかけ	110	37.7%
金融機関の職員やコンビニ店員による声掛け	106	36.3%
高齢者を対象とした防犯教室の開催	83	28.4%
県や市町の広報誌、防災無線などによる呼びかけ	46	15.8%
自宅玄関付近への防犯カメラの設置	45	15.4%
金融機関と連携したATMの振込制限やATM利用限度額の引下げ	31	10.6%
「ストップ！ATMでの携帯電話」運動(ATMでの携帯電話の通話はしない、させないことを社会のルールとして呼びかける運動)の推進	26	8.9%
医療関係者や介護事業者職員による声掛け	23	7.9%
地域コミュニティへの参画	22	7.5%
特殊詐欺被害防止コールセンターによる注意喚起	3	1.0%
その他	2	0.7%



〔問11〕 特殊詐欺の被害に遭った場合、被害者はそれを打ち明けられず自分を責め続けてしまう傾向が見られ、被害者に対するメンタルケアやフォローも重要であると考えますが、警察以外でどのような方からのケアやフォローが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 292	
	回答者数	構成比
同居の家族	234	80.1%
別居の家族や親類	151	51.7%
友人・知人	135	46.2%
行政機関(県・市町)の職員	82	28.1%
医療機関	38	13.0%
民生委員	37	12.7%
介護事業者	30	10.3%
近所の人	18	6.2%
職場の上司・同僚	6	2.1%
その他	7	2.4%
分からない	10	3.4%





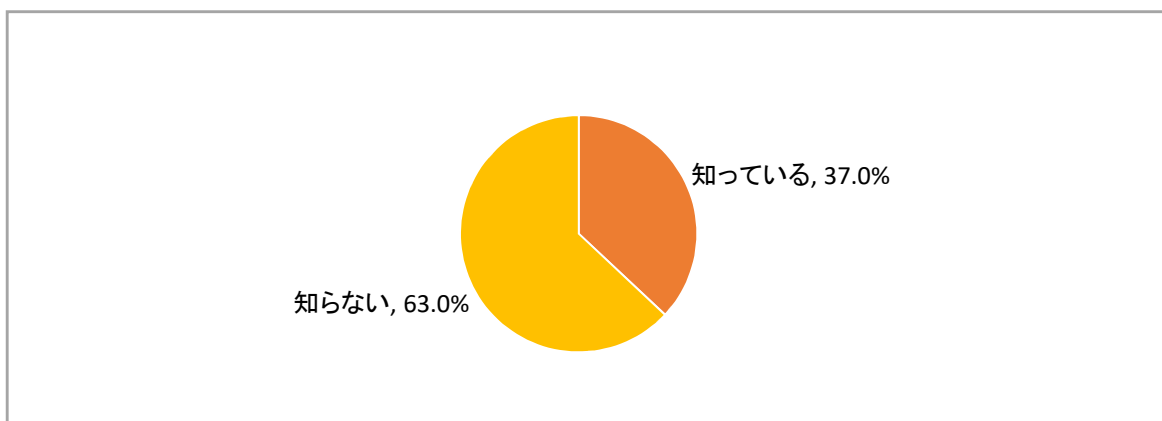
〔問12〕 平成29年度から、香川県警察において、「振り込め詐欺撃退装置体験貸出事業（※）」を実施していますが、あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 振り込め詐欺撃退装置は、固定電話に取り付けることで、着信音が鳴る前に、電話をかけてきた人に「犯罪被害の防止のため、会話内容が自動録音されます」と警告メッセージを流し、電話に出ると、実際に会話を自動録音する機器です。

装置は、県内在住の65歳以上の方およびそのご家族の方を対象に、半年間、無料で貸出しております。

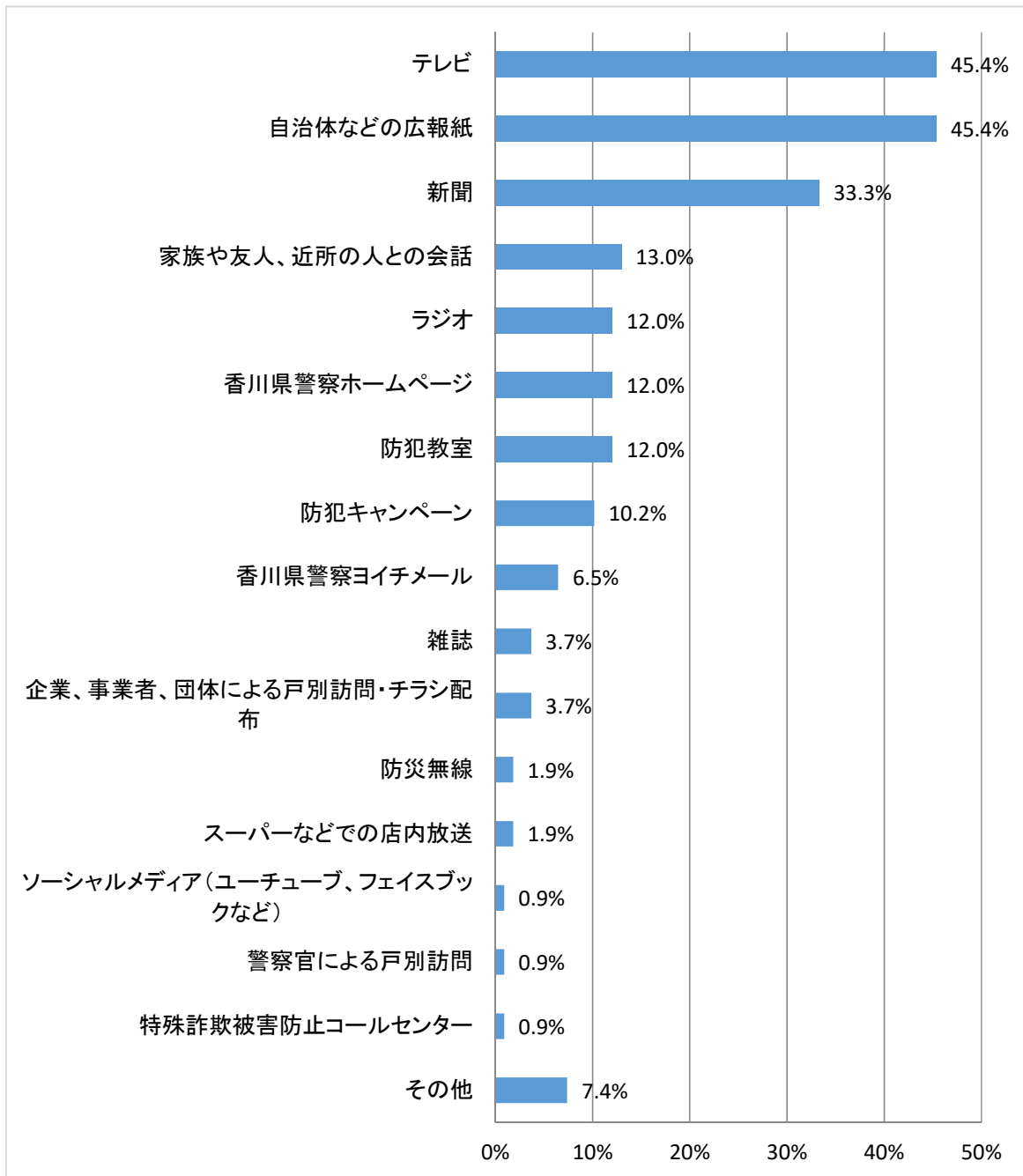
なお、家電メーカーから、電話機自体に同様の機能を備えた、防犯機能付き電話機も販売されております。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	108	37.0%
知らない	184	63.0%
計	292	100.0%



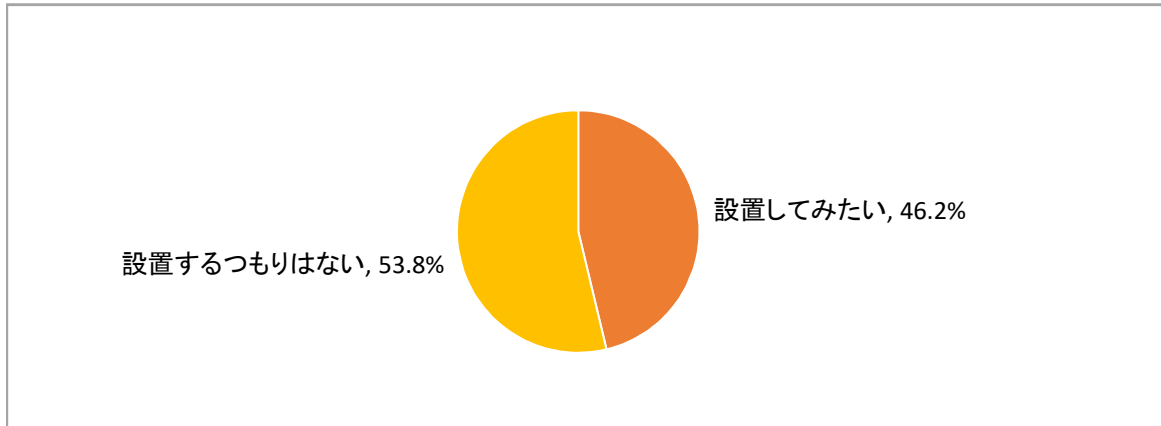
〔問12-1〕 問12で「知っている」と答えた方にお伺いします。  
あなたは、この事業を何で知りましたか。次の中からすべて選んでください。

選択肢	回答者数 108	
	回答者数	構成比
テレビ	49	45.4%
自治体などの広報紙	49	45.4%
新聞	36	33.3%
家族や友人、近所の人との会話	14	13.0%
ラジオ	13	12.0%
香川県警察ホームページ	13	12.0%
防犯教室	13	12.0%
防犯キャンペーン	11	10.2%
香川県警察ヨイチメール	7	6.5%
雑誌	4	3.7%
企業、事業者、団体による戸別訪問・チラシ配布	4	3.7%
防災無線	2	1.9%
スーパーなどでの店内放送	2	1.9%
ソーシャルメディア(ユーチューブ、フェイスブックなど)	1	0.9%
警察官による戸別訪問	1	0.9%
特殊詐欺被害防止コールセンター	1	0.9%
その他	8	7.4%



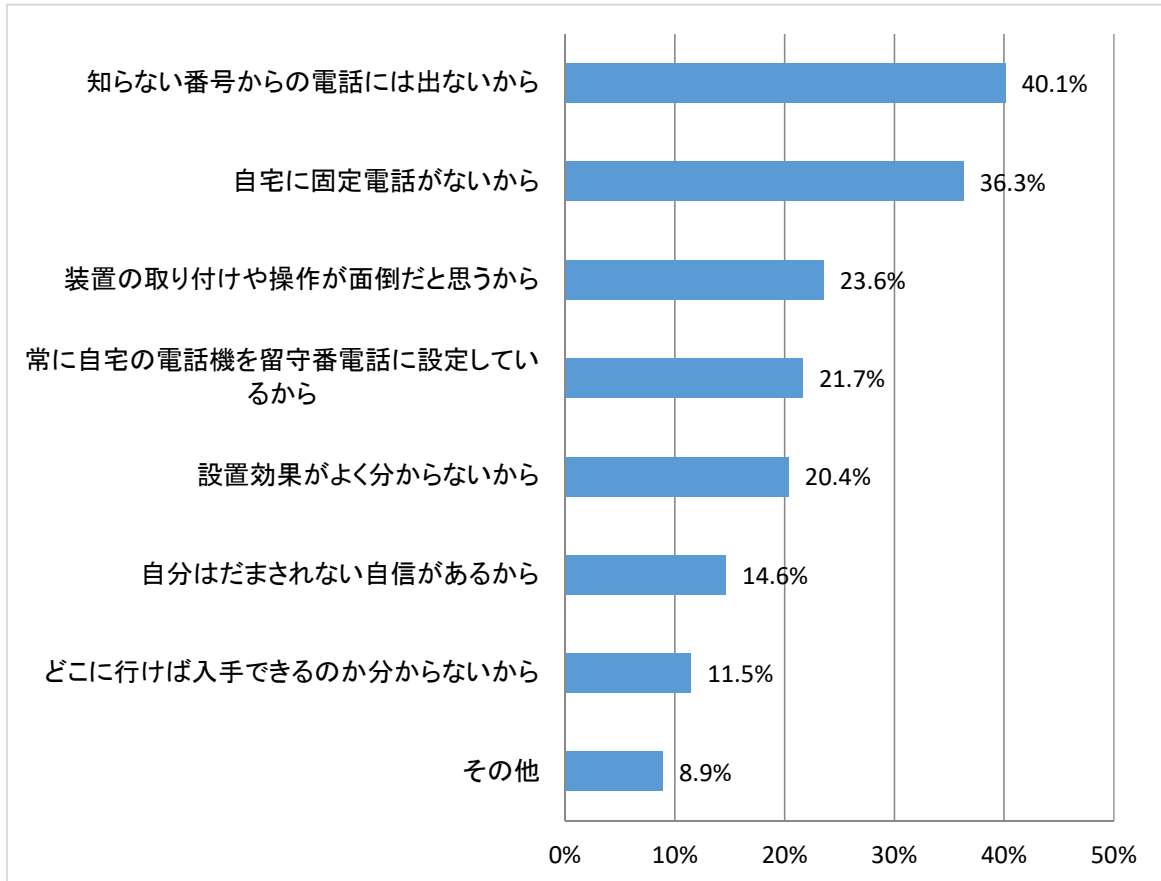
〔問13〕 あなたは、特殊詐欺の被害を防止するため振り込め詐欺撃退装置を設置してみたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
設置してみたい	135	46.2%
設置するつもりはない	157	53.8%
計	292	100.0%



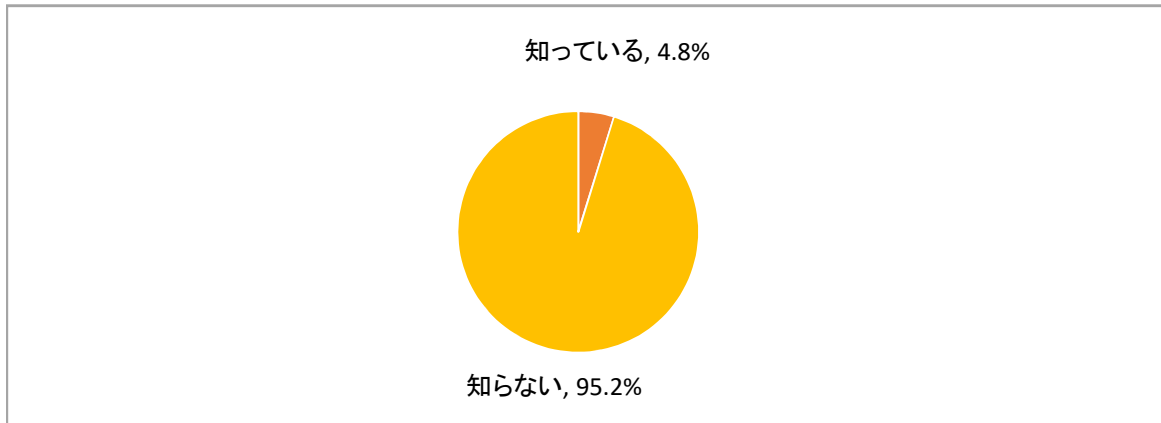
〔問13-1〕 問13で「設置するつもりはない」と答えた方にお伺いします。  
 なぜそのように思いますか。次の中から3つまで選んでください。

選択肢	回答者数 157	
	回答者数	構成比
知らない番号からの電話には出ないから	63	40.1%
自宅に固定電話がないから	57	36.3%
装置の取り付けや操作が面倒だと思うから	37	23.6%
常に自宅の電話機を留守番電話に設定しているから	34	21.7%
設置効果がよく分からないから	32	20.4%
自分はだまされない自信があるから	23	14.6%
どこに行けば入手できるのか分からないから	18	11.5%
その他	14	8.9%



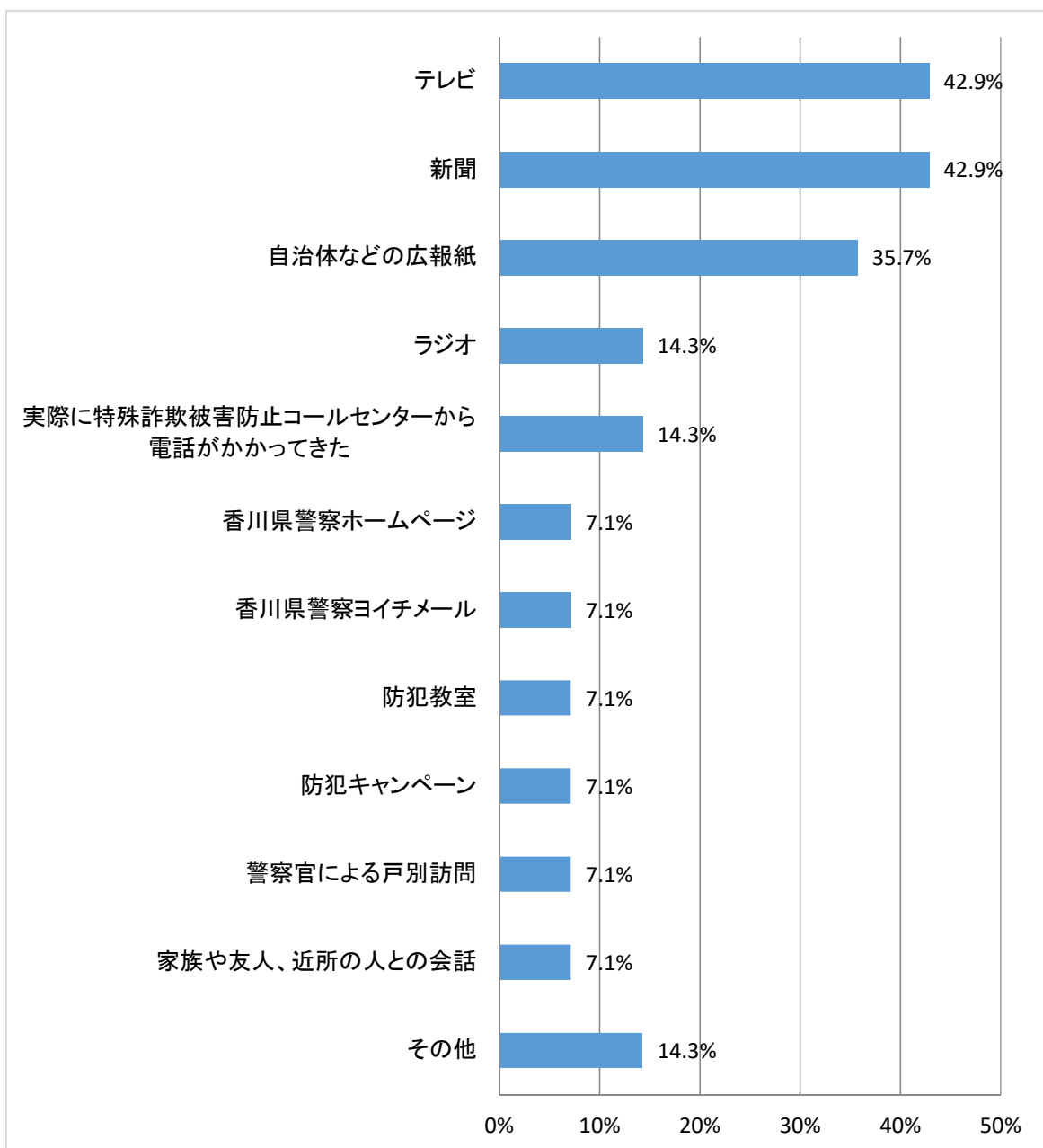
〔問14〕 香川県警察では「特殊詐欺被害防止コールセンター事業」を運用し、オペレーターが県民に直接架電して、特殊詐欺の手口やその対策について注意喚起などを行っています。あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
知っている	14	4.8%
知らない	278	95.2%
計	292	100.0%



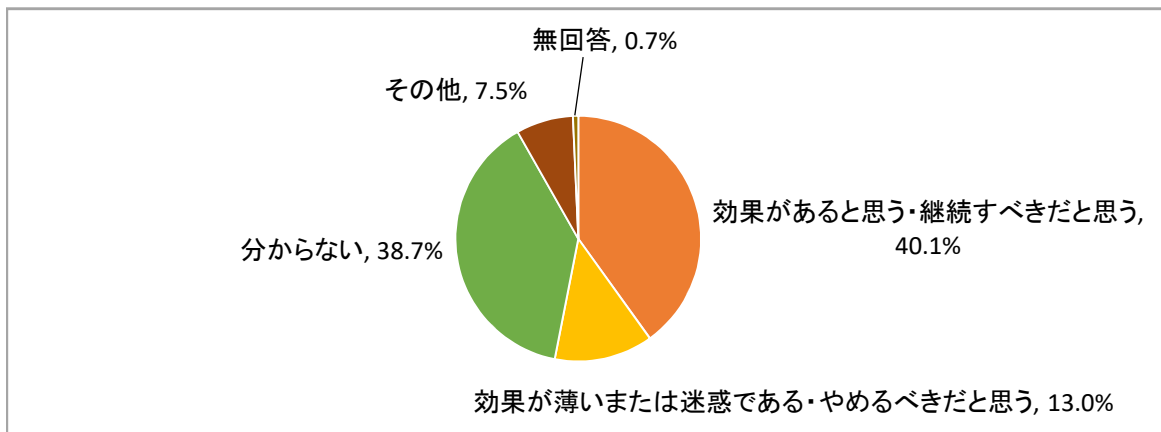
〔問14-1〕 問14で「知っている」と答えた方にお伺いします。  
 あなたは、この事業を何で知りましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答者数 14	
	回答者数	構成比
テレビ	6	42.9%
新聞	6	42.9%
自治体などの広報紙	5	35.7%
ラジオ	2	14.3%
実際に特殊詐欺被害防止コールセンターから電話がかかってきた	2	14.3%
香川県警察ホームページ	1	7.1%
香川県警察ヨイチメール	1	7.1%
防犯教室	1	7.1%
防犯キャンペーン	1	7.1%
警察官による戸別訪問	1	7.1%
家族や友人、近所の人との会話	1	7.1%
その他	2	14.3%



〔問15〕 「特殊詐欺被害防止コールセンター事業」についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

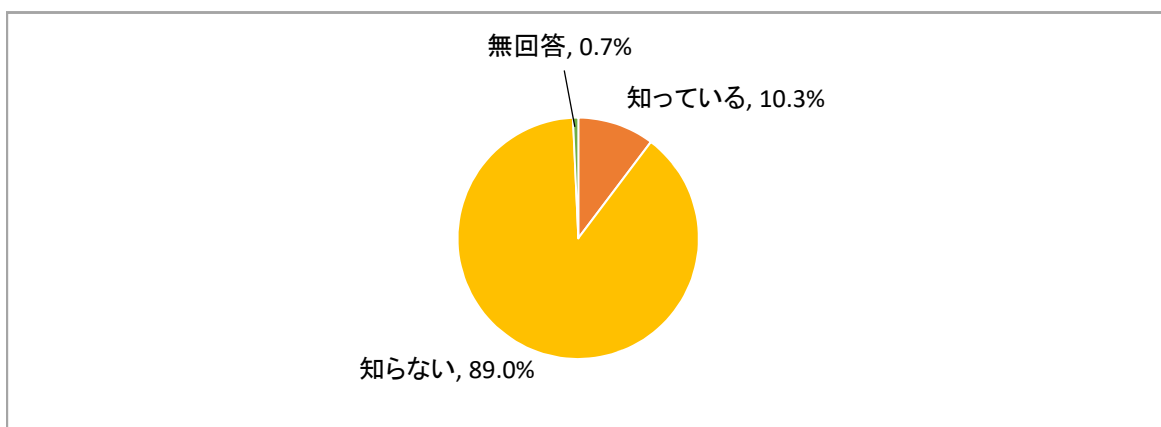
選択肢	回答者数	構成比
効果があると思う・継続すべきだと思う	117	40.1%
効果が薄いまたは迷惑である・やめるべきだと思う	38	13.0%
分からない	113	38.7%
その他	22	7.5%
無回答	2	0.7%
計	292	100.0%



〔問16〕 特殊詐欺対策として平成27年4月1日から県内の金融機関において、高齢者の方が高額現金を引き出す場合には「預金小切手」の活用（通称「預手プラン」）を勧めていますが、あなたはそのことについて知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ 預手プランとは、香川県警察が金融機関と連携して、金融機関の窓口において、高齢者の方が高額現金を引き出す場合には、引き出しの理由の確認に加え、「預金小切手」のご利用をお勧めし、特殊詐欺に巻き込まれている可能性が高いと判断された場合に、警察に連絡するという取り組みです。

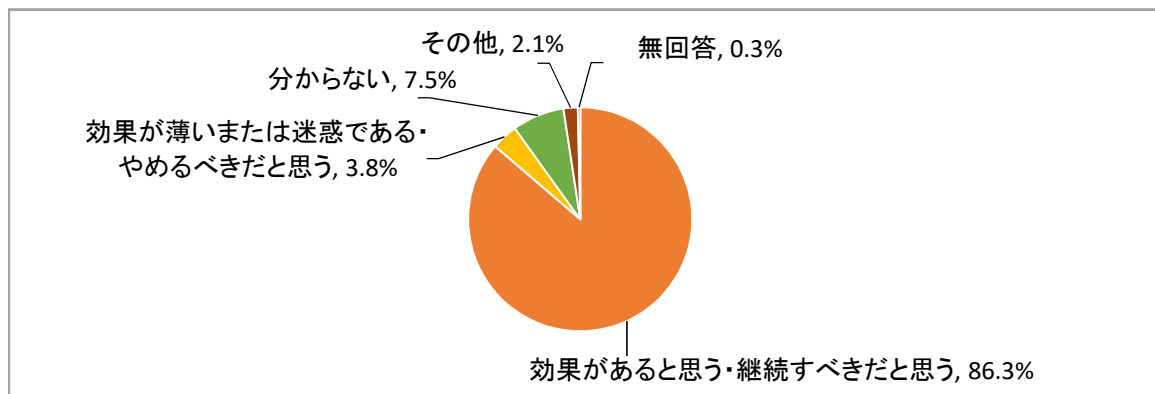
選択肢	回答者数	構成比
知っている	30	10.3%
知らない	260	89.0%
無回答	2	0.7%
計	292	100.0%





〔問17〕 特殊詐欺対策として、金融機関において、高額な現金を取引（出金・振込など）される方や、コンビニエンスストアにおいて高額の電子マネーを購入される方に対して職員などがその理由などをお尋ねする場合がありますが、あなたはそのことについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
効果があると思う・継続すべきだと思う	252	86.3%
効果が薄いまたは迷惑である・やめるべきだと思う	11	3.8%
分からない	22	7.5%
その他	6	2.1%
無回答	1	0.3%
計	292	100.0%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。